

## ■会員 Now

# 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

## ー風力発電ソリューションサービスの充実へ向けてー

新エネルギー・インフラ事業推進部 早崎 宣之

TEL:03-6203-7556 nobuyuki.hayasaki@ctc-g.co.jp

### はじめに

近年の新エネルギーの大量導入時代へ向けた世界の変化において、新エネルギーに関するエンジニアリング技術の重要性が高まっています。

伊藤忠テクノソリューションズ(株) (CTC) では、今年度から新エネルギー・インフラ事業推進部を新たに立ち上げ、「新エネルギーエンジニアリング技術」と「IT技術」を駆使し、次世代社会システムの構築へ向けたソリューションをお客様に提供しています。

その中でも、長きに渡ってお客様と共に積み上げてきた風力発電関連の技術は、当部の重要な基盤技術となっており、今後ともこの強みを一層強化していきたい所存です。

### 風力発電サービスと近年の取り組み

「風力発電の出力予測ができないか？」1990年代後半、あるお客様との打ち合わせの際に出てきた言葉が、弊社が風力発電と関わるきっかけとなりました。

以来、十数年にわたり、風力発電事業のFS評価、運開後の評価、及びシステム開発を含め国内の約半数の風車に対してお手伝いをさせていただきました。

現在のサービス内容は、風況の評価だけでなく、系統安定化技術の一つの対策である、風力発電出力予測システム、予防診断システム、改

正建築基準法に対応した風荷重、地震荷重等におけるタワーの構造計算等、常に時代のニーズに合ったソリューションをご提供させていただいております。

近年はこのような技術を生かし、世界初の蓄電池併設型の風力発電所の構築にも携わりました。CTCは風力発電出力予測技術を通じて、世界初の風力発電所の構築に貢献しています。また、経済産業省が公募する「平成22年度次世代送配電系統最適制御技術実証事業」にも参加しており、電力系統への再生可能エネルギー大量導入と系統安定化を両立するための課題解決に取り組んでいます。

また、将来の風力発電機の大型化を見据えた研究開発として、ドップラーライダーやドップラーソナーに代表されるリモートセンシング技術を用いた観測技術の高度化にも取り組んでいます。

今後とも、事前の発電量調査・風車の構造評価から、運開後の運営管理におけるモニタリング・風力発電出力システム等、上流工程から下流工程まで、日本における風力発電の普及拡大・安定運用により、風力発電の導入拡大に貢献するため、更なる風力発電ソリューションサービスを充実し皆様のお役に立てるよう努力していきます。

